

「イエスは門、 そして羊飼いです」

ヨハネの福音書10章9~11節

1

わたしは門です。だれでも、わたしを通過して入るなら救われます。また出たり入ったりして、牧草を見つけます。盗人が来るのは、盗んだり、殺したり、滅ぼしたりするためにほかなりません。わたしが来たのは、羊たちがいのちを得るため、それも豊かに得るためです。わたしは良い牧者です。良い牧者は羊たちのためにいのちを捨てます。

ヨハネ10:9-11

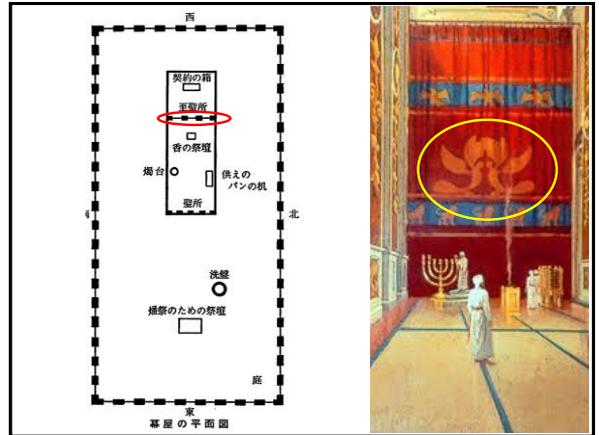
2

閉じられたエデンの門

こうして神は人を追放し、いのちの木への道を守るために、ケルビムと、輪を描いて回る炎の剣をエデンの園の東に置かれた。創世記3:24



3



4

契約の箱



5

真っ二つに裂け、開かれた門

しかし、イエスは再び大声で叫んで霊を渡された。すると見よ、神殿の幕が上から下まで真っ二つに裂けた。

マタイ27:50-51

こういうわけで、兄弟たち。私たちはイエスの血によって大胆に聖所に入ることができます。イエスはご自分の肉体という垂れ幕を通して、私たちのために、この新しい生ける道を開いてくださいました。

ヘブル10:19-20



6

閉じられた門が開かれた

- イエスは彼に言われた。「**わたしが道であり、真理であり、いのちなのです。わたしを通してでなければ、だれも父のみもとに行くことはできません。** ヨハネ14:6
- **狭い門**から入りなさい。滅びに至る門は大きく、その道は広く、そこから入って行く者が多いのです。**いのちに至る門はなんと狭く**、その道もなんと細いことでしょう。そして、それを見出す者はわずかです。マタイ7:13

7

門をから入ると

- 門から入るのは入門(入学式、入社式)
- **入門したら門下生=弟子**、教師はイエス様
- あなたがたはわたしを『先生』とか『主』とか呼んでいます。そう言うのは正しいことです。**そのとおりなのですから。主であり、師であるこのわたしが、あなたがたの足を洗ったのであれば、あなたがたもまた、互いに足を洗い合わなければなりません。** 13:13 -14

8

私たちは弟子、教師はイエス様

- わたしはあなたがたに新しい戒めを与えます。互いに愛し合いなさい。わたしがあなたがたを愛したように、あなたがたも互いに愛し合いなさい**互いの間に愛があるなら、それによって、あなたがたがわたしの弟子であることを、すべての人が認めるようになります。** ヨハネ13:34-35
- **あらゆる国の人々を弟子としなさい。**、、、わたしがあなたがたに命じておいた、すべてのことを**守るように教えなさい。** マタイ28:19-20

9

私たちは弟子、教師はイエス様

- **救われればこっちのものではなく、あっちのもの**の神のもの。神のものとなるバプテスマ。「父、子、聖霊の名によって(中に入る、名義変更)バプテスマを授け、、、」 マタイ28:19
- 羊は目が悪い **羊飼いの声に従う。**それが信仰「**信じるだけの羊**」?
- 「これらのことが書かれたのは、、、信じて命を得るため。」 ヨハネ20:31 **聖書から神の声を聞く!**
- 「これらのことを書いたのは、永遠の命を持っていることをあなたがたに分からせるため。」
1ヨハネ5:13

10

イエス様は良い羊飼い

- 十字架はイエス様が本物であることの証し、そして私たちの本当の価値の証し
- 十字架は、「神の一緒懸命」(神は私たちといっしょに生きるためにご自分の命を懸けた。)
- 私たちは「訳あり」クリスチャン。生きる訳、目的がある。使命(ミッション)、いきがいがある。
- 永遠の命の生き方 ヨハネ17:3 神様といっしょに生きること。
- 天国行きの前に**天国生き。**

11

イエス様は良い羊飼い

- イエス様は私たち人間を神の元に連れ戻すために来てくださいました。イエス様は、門となり、道となり、案内人、教師となってくださいました。
- イエス様は、**私たちがいのちを得、またそれを豊かに持つために来て下さった。**
- 永遠の命は、神様といっしょの命、神様といっしょに生きること。神様に従い、神様の目的(ミッション)のために生きること。

12